

令和元年度 木更津市図書館協議会 第2回図書館協議会 会議録

日時 令和2年3月7日（土）午後1時～午後2時10分  
会場 木更津市立図書館 小会議室  
出席者 鉢村美幸委員 村上淑子委員 荻野敬次委員 手塚英美委員 須磨谷幸子委員  
實剣純一郎委員 中原まどか委員 桂 啓之委員  
事務局 渡邊雅夫館長 大宮安雄副館長 石渡 恵主査

概要

令和元年度第2回木更津市図書館協議会

- 1 桂議長挨拶
- 2 中原委員自己紹介
- 3 職員紹介
- 4 議題
  - (1) 令和元年度木更津市図書館事業報告について  
事務局から説明
  - (2) 令和2年度木更津市図書館事業計画について  
事務局から説明
  - (3) その他
    - ・令和2年度図書館重点目標・施策について
    - ・令和2年度における具体的な取り組みと成果指標について
    - ・ブックスタート事業の取り組みについて事務局から説明

**(事務局)**

ただ今から令和元年度第2回図書館協議会を開催いたします。開催にあたり、ご報告させていただきます。本日の会議は、委員10名中、7名が出席で、欠席は3名でございます。従いまして、図書館協議会運営規則第4条第1項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。以上、ご報告いたします。  
それでは、先ず始めに、桂議長よりご挨拶をお願いいたします。

(議長あいさつ)

**(事務局)**

ありがとうございました。  
本日は、2回目の定例会となりますが、議事に入る前に、前回欠席されました中原委員の自己紹介をお願いいたします。

**(中原委員)**

こんにちは。中原まどかと申します。  
通常は小学校図書室におりまして、本の整備、修理、子供たちへ本の紹介、読み聞かせなどをしております。どうぞよろしく申し上げます。

**(事務局)**

ありがとうございました。

それでは、次に本日の事務局職員の紹介をいたします。

まず初めに、館長の渡邊でございます。

(館長) 館長の渡邊です。

どうぞよろしくお願いいたします。

次に、主査の石渡です。

(石渡主査) よろしくお願ひします。石渡です。

(副館長) それで、私が副館長の大宮です。よろしくお願ひします。

(荻野委員到着 着席)

それでは早速ですが、会議に入ります。

今後の進行につきましては、協議会規則第2条第3項の規定によりまして、議長にお願いしたいと思ひます。議長よろしくお願ひします。

(桂議長)

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

先ず始めに、議事録署名人についてですが、議長及び委員で務めたいと思ひます。

前回の会議録につきましては、私と荻野委員で確認し、署名を行いました。

今回は、中原委員にお願いしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、議事に入ります。

(桂議長)

はじめに、議題(1)の「令和元年度木更津市図書館事業報告について」事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

令和元年度事業報告につきましては、2月末の統計を基にご説明させていただきます。

前回資料につきまして事前にご送付させていただくと申し上げたと思ひますが、今回、蔵書点検の期間が後ろにずれ込んだことや、ウイルス関連で非常に関係機関との調整が、長引いたということで、お手元に事前にご送付することができませんでしたので、改めてお詫びを申し上げたいと思ひます。

お手元の資料をご参考に、お話しをさせていただきたいと思ひます。

まず、こちらの資料ですけれども、資料のまず1ページをご覧くださいと思ひます。

主なものについてご説明させていただきます。

まず、今年度の開館日数なんですけど、2月末現在となっておりますけれども、2月末現在で258日となります。

3月の開館日数が新型コロナウイルスによる臨時休館により、現在のところ11日と予想されていることから、年間ですと269日の開館日数が予想されています。

従って、昨年度より開館日数が減少をして参ります。

休館日につきましては、例年通り、毎週火曜日、月末の金曜日、年末年始、一部の祝日、蔵書点検期間中ということでございました。

次に入館者数、ですけれども、昨年度11万7,304名に対しまして、今年度は2月末現在で10万1,625名ということで、平均値で比較しますと昨年より減少することが見込まれます。

平成26年度まで増加傾向にあったものが減少に転じておりましたが、平成29年度、一旦、増加しました。

平成30年度、今年度は再び減少する見込みというような形になります。

また、館内貸出冊数ですけれども、平成25年度の45万4,227冊をピークに減少に転じており、今年度も平均値で見ますと、昨年度より、若干減少することが予想されます。

およそ 39 万 8,000 冊程度になってくるんじゃないかと考えています。

全国的に皆さんご存知の通り活字離れが指摘されている中で、近隣市や県内でも同様の傾向が見られます。歯止めをかけるために、さらに努力が必要だと考えています。

次に資料 2 ページ、月間の貸出人数についてですが、毎年の通り 7 月、8 月につきましては、子供の長期休業中の貸出冊数が他の月より多くなっている現象があります。

また、2 月は蔵書点検により休館日のため人数、冊数とも減少しています。

今年度、特に 9 月、10 月に、台風により災害があった関係で、昨年、一昨年度より減少した傾向がございました。

次に 3 ページをご覧ください。

一番上に図書費とありますけれども、公費で支出する備品購入費が 1,200 万円でございます。

表中では 1,205 万円となっておりますけれども、5 万円については、一般の方からの寄付がございましたので 1,205 万円となっております。

現在 36 万 7,020 冊、2 月末現在であり、購入寄付等から、一番下段の、3 ページって書いてあるちょっと上にあるんですけども、年間除籍冊数を除いたものが、昨年度からの純増になろうかと思えます。

次に、近年、除籍数が非常に増加しております。

公民館の図書整備を進めていることや、利用に耐えない資料の除籍を進めていることから、多くの資料が除籍されているような形になりました。

また、除籍資料については、リサイクルフェアなどを行い有効活用を図っています。

今年度は、リサイクルフェアにおきまして、廃校になった中郷中学校や富岡小学校の児童書の一部もリサイクルに回すことができましたので、有効活用が図れたと考えています。

その他の詳細につきましては、資料を後程、ご確認いただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

次に 4 ページをご覧ください。

図書館で実施しているレファレンスサービスは、ここ数年、増加傾向にございましたが、今年度は減少に転じております。

また、図書館の蔵書検索につきましては、館内の 6 台のパソコンで検索、予約が行われています。

昨年度、一時的に増加傾向、増加が見られましたが、ここ数年は一定した数字で推移しています。

次に 2 階のインターネット閲覧用パソコンにつきましては、データベースといたしまして、図書館向けデジタル化資料商品サービス、歴史的音源配信提供サービスの利用や、各種データベースの利用が進んでいます。

データベースにつきましては、「読売新聞のヨミダス文書館」とそれと、「D 1—law」第一法規の法律の検索になっております。それと、「官報」配信サービスなどを実施しているようなところになります。

パソコン上でこれらのネットサービスが閲覧できます。

また、本年度の事業につきましては「図書館だより」などで逐一ご報告させていただいているところですが、各種事業の 5 ページ以降に写真などもつけながら、少し書かせていただいております。

「絵本講座、児童文学講座、ボランティア講座、れきおんミニコンサート、雑誌と図書のリサイクルフェア、ブックスタート事業」等の主催事業を通しまして、図書館事業への理解を深めていただく機会となりました。

全体の事業の詳細につきましては、A3 版で、別紙の事業概要を作成しております。

A3 版の見開き、4 ページになりますけれども、全体で 27 の事業になります。

こちらの方に、事業名、開催趣旨、事業内容、講師等、その他の成果と課題など書かせていただいておりますので、データとしてご覧いただければと思えますので、よろしく願いをいたしたいと思えます。

以上、令和元年度の事業報告を簡単に説明させていただきました。よろしく願いいたします。

(桂議長)

はい。この件につきまして、何かご質問がありましたらお願いします。

**(村上委員)**

この主な蔵書の内訳で音訳が昨年度より随分減っていますよね。それはなぜか理由があるのですか。

**(事務局)**

音訳については、統計の取り方を変更したと担当から聞いています。

**(石渡主査)**

音訳の資料につきましては、すべての資料がバーコード管理されていないので、担当者が手で表を作って集計をしているんですけれど、例えば、1枚のCDに10話入っていた場合、プラス10でカウントしていたものを、今年度はその枚数、バーコードの管理枚数に変えたということなので、持っている数は変わらないんですが、そのバーコード状の数の変動が少しあったようで、見た目は減少して見えますが、数としての所蔵数は変わりません。

**(鉢村委員)**

はい。それでは、2点質問したいんですけれども。

まず1ページ目の貸出しで、公民館での貸し出しが、非常に昨年度に比べて増えていると思うんですけれども、それはどうしてかなってということと、もう1点は、4ページになるんですけれども、レファレンスが昨年度に比べて減っているということなんですけれども、どういうレファレンス依頼が多いのかなってということが知りたいです。

**(事務局)**

まず、公民館の増加の原因ですけれども、公民館の図書整理を進めているということもあるんですけれども、主に金田地域交流センターの蔵書の充実を図りました。

それから、金田公民館の時には、図書室も狭隘でしたので、なかなか蔵書も充実することができなかつたんですけれども、金田地域交流センターに移行することによって、オープンで明るいスペースになったことと、新しい施設ということで、図書館も力を入れて蔵書を増やしましたので、そういったところが増加に繋がってきたと考えています。

**(石渡主査)**

レファレンスとも件数が減ってはいるんですけれども、実は今年度、レファレンスを担当する職員が総入れ替えしまして、カウントの仕方によって、もしかしたら、昨年度より減ってしまったのかなという感じがします。多い質問ですと、特に今年度は、請西藩主の林忠崇さんのことが、テレビで放映などもあって、かなり件数が多かったです。

あとは、地域のこと、自分が今住んでいるところの昔の地図を見たい。ですとか、あとは先ほど館長の方からお話がありましたように、法令の検索システムを使った判例ですとか、法律の関係のものが、昔と見比べたいとか、そのような調査の依頼も結構ありました。

**(村上委員)**

入館者数は初めの説明の時に、活字離れの影響がどこでも、そういう状況にあるということをもう、10年以上前からそういう傾向にあるということはわかるんですけれども、この入館者数についても、数だけで、減っているから、その対応がどうかってようなことはないと思うんですね。内容もあるのでは。でも、木更津図書館としてはこの活字離れということが言葉では片付けてはいないと思うんですけど。この図書館で、対応しているような、何か具体的な状況、お話があればお聞きしたい。

また、4ページの上、先ほどのレファレンス数についてですけれども、利用者のさりげない質問までいなくても、図書館に来た時に対応する職員の方々の、その姿勢、言葉というか、利用者が聞いたことについて、お返事いただけただってということ以外に、対応する時の雰囲気や姿勢が、「蔵書が多かったからよかった」とか、「新しい本でよかった」以上に対応の仕方ですね。図書館の雰囲気はすごくいいんで、広がると思うんですね。

だから、これは質問じゃないですが、是非、窓口の方は、利用者の対応の仕方をこれから十分考えて、配慮していただきたい。

それと図書館の検索についての数字がありましたけれども、このカウントは多いほうなんですか。

これは、30年度、元年度とありますけど、その前から、ずっと記録はあると思いますけれども、予約とかなんかじゃなくて、まずこう見てみようっていうふうに、検索、図書館のホームページを見る関心っていうのは、今、木更津の利用者たちは、どのくらいか。件数が多くなっているんですよ。

そういうことをそこまで分析しているかどうか。

#### (事務局)

いくつかお答えができると思いますが、入館者数を増やす工夫についてなんですけれども、ご存知のとおり木更津市立図書館はもう建ってから大分年数が経っております。昭和49年に建てられた施設ということで施設自体が古くなってきていますので、具体的には、ハードの面よりソフトの面で頑張っていこうじゃないかということで、職員の方では力を入れているところです。

また、事業計画の中でもあろうかと思えますけれども、図書館サービスの充実として、大きく4点ほど目標を掲げて、取り組みを進めています。

具体的などころでは、先ほどの事業概要を見ていただくとわかると思いますけれども、主催事業を充実してできるだけ多くの図書館との触れ合いを増やしていただく。接する機会を増やしていただくということで、図書と触れ合う機会を増やしていきたいと考えています。

この辺は、図書館とすると非常に力を入れてやっているところでございます。

また、後程、担当者の話もあろうかと思えますけれども、子供たちへの将来の。そういった形での投資を増やして、できるだけ活字と触れ合ってもらう機会を増やしていくことが重要な機会だと考えます。

それと、障害者の方などにも優しく、できるだけ利用しやすい環境などを整えていくなどもその一つだと思います。

そういったソフト面の事業を通して、できるだけ多くの人に来ていただきたいということを、職員としては心がけているという形になります。

それと、図書館窓口業務の対応は、どこでも重要な形になるので来てくれた方が、また来たいと思うような対応を図書館職員として心がけていきたいと考えています。これは継続して、ご要望ということもありましたので、職員間で共通認識を図っていきたくて考えていきますので、また何かお気づきの点があったら、教えていただきたいと思えますのでよろしくお願いをしたいと思えます。

3点目の図書検索のカウントの仕方なのですけれども、昨年度までは、あと数年検索の件数が増えていったんですね。今年に限っては、まだ2月現在の数字なので全体の統計データは出ていませんが、少し減少するのではないかなと考えています。

これはウェブ担当が何人かいますので、いろんな考えがあると思うんですけれども、実は木更津市図書館だけの検索じゃなくて、場合によっては千葉県図書館の横断検索とか、図書館を全国的に検索するシステムがあるんですけれども、データが入り込んでこちらのデータの方に反映されているんじゃないかなっていうようなことも考えられるので、そういった件数で非常に件数が、いわゆる増減するっていうような形で考えています。場合によっては、その中の検索システムの1個がうちの検索システムに引っかからなくなってくると、数万件単位で減ることも考えられますので、その辺については、今後分析が必要だと感じていきますので、今後の課題として考えていきたいと考えます。私からは以上です。

#### (村上委員)

今年度初めて恵春庵で「大人のためのおはなし会」に参加したんですけれども、職員の方々の一生懸命さというか、ご努力というか、本当に感動しまして、22人ということですが、私、もっとたくさんの人に来館してもらいたい。知らないままで過ぎていく方もいっぱいいると思うんですけれども、もう本当に、よかったなあと。参加してよかったっていう気持ちになりました。都合がいたら、是非、委員の皆さんも参加ができます。

#### (桂議長)

参加したくても参加できない人も多いはずなんで、申し訳ないですけど、なるべく参加できる人は、参加

していただきたいと思います。

検索数なんかは、木更津の人口からしてみれば、かなり多い方っていう印象を受けると思うんですけどね。わざわざ、遠くの県から木更津市の図書館を検索する人はそうそういないと思います。

近場の人だと思うので、結構、ネットを使っている方が多いという印象ではあると思います。

他にご質問、ご意見ありましたら、今日、活発な意見が多いですね。

#### (手塚委員)

私の方からは、こちらの事業報告の概要の方ですね、5番の保育園おはなし会ですね。

当園にも、スタッフの方が来てくださって、子供たちにお話しさせて、聞かせていただいています。

本当に子供たちは日々、保育園でも絵本の読み聞かせはすごく大切にされていて、1日のうちに、平均で5冊から6冊・7冊ぐらいの本を子供たちに読み聞かせをするんですが、おはなし会はもう本当に特別で、司書の方が来てくださって、そして素話しとわらべうたと手遊びっていうのがですね、本当に特別な時間として毎月子供たちは、すごく楽しみにしております。

今後も是非、続けていただけるような方向で。スタッフの方が、少なくなったというお話もちらっと。できる方が少なくなってきているっていう話も耳に挟みましたので、是非こちらは続けていただきたいなと思います。

図書も保育園の時代から身近に感じて、そしてお母さんと一緒に行ってきたんだっていう声もありますので、是非繋がりにしていただきたいなというふうに思います。

もう一つ私の方から私の目線で気になったことは、こちらの冊子の9ページの、今年度のベストリーダー。なんか一般の方はちょっと新書も多い、新しい本も多いのかなと思うんですが、児童の方はやはり昔ながらの絵本が多いなというふうに思いました。

何歳ぐらいまでが児童に入っているのかちょっとそこがわからないんですけども、1位から10位までが全部絵本だになっていうところで、小学生ぐらいのお子さんたちの児童書の方は、どんな動きになっているのかなっていうことと、それから絵本、やはり親子連れが多いのかなというところで、素晴らしいことだなと思うんですが、ちょっと若干偏りそうかなと思いますので、少し気になったので、もし補足をいただければと思います。

#### (事務局)

概要的なところなのですけれども、児童のくくりっていうのがあるのです。この上にヤングアダルトっていうくくりがあるのですけれども児童は小学生まで。そうですね。主に小学生までだと思うんです。

小学校に行くと、多分学校の児童図書室があるのでそちらの方で借りるケースも増えてくるので、こういう小さい比較的、小学校上がる前の小さい子供たちの本が選ばれるっていう可能性、傾向が強いのだと思うんです。こちらの方については、図書館としても充実してそろえているというのと、児童書の回転率は非常に高いんですね、1冊に対して借りられる回数が多い、多いものですから、そういうのがベストリーダーとしてカウントされてくる関係でこういうような形になってくると思います。

小学生にとか或いは中学生、高校生ぐらいになってくるとまたちょっと、もう少し回転数が悪くなったり或いは別のところで借りたりする子がいるので、図書館の児童書とするとこの形が多いっていう形になるうかと思えます。

それと、先ほど皆さんからお話もあったように、大人のためのおはなし会などは、職員の自己研修の場所になっていますし、そういった意味で保育園等に行ってお話をさせていただくためにも、職員のスキルアップになっていると思うんですが、今後も司書として、しっかりやっていただくように、図書館としても、継続して、研修もやっていきたいと思えます。

去年までの児童担当から補足があれば言ってください。

#### (石渡主査)

確かにこの9ページに書かれている児童部門のベストリーダーの絵本っていうのは、どれも発行が、30年以上前のものだったりして、図書館の児童書の中ではもう定番、基本図書と言われる類のものです。

そういったものですので、もちろん当館としてもお勧めしている本なので、所蔵数が多いんですね。各公民館にも、必ず2冊以上配置をしていますので、26冊30冊と数が多くなっています。

その点、館長もお話をしていました、貸し出しの回転が速いので、どうしても利用回数が増えてしまうということです。ただ、「がたんごとん がたんごとん」も30冊あっても、全部出ちゃうということが多々ある本なので、それだけやはりこう内容もここに載っている児童に関しては、子供たちが毎回選ぶのは間違いじゃないのかなと思っています。

また新しい本も定期的に購入はしていますが、どうしてもその冊数をたくさん買えないので、利用回数としては載りませんが、きちんと、古い本だけではなく、新しい方も、今の子供たちに寄り添うような、本物の本もそろえていますので、ぜひ一度、児童書もちょっとご覧になっていただくと、結構面白いかなと思いますので、どうぞご利用ください。

**(桂議長)**

手塚さんよろしいでしょうか。

**(手塚委員)**

はい、ありがとうございます。本当にこのラインナップは、保育の世界でもすごく大事にしている宝物なので、本当にそれが順位の上の方に上がってくるっていうのは、やはり本、質の高い本を紹介していただけているっていうことだと思いますので、新しいものがないとは思ってないので、大丈夫です。すいませんありがとうございました。

**(村上委員)**

3ページの上から2段目の蔵書に繋がるんですけども、一番下に、除籍冊数のこともありますけど、この蔵書の中の寄贈の差については、木更津では、どういう対応といたしますか、どんな状況で受け入れたりしているのでしょうか。

**(事務局)**

基本的な蔵書についても、我々が通常の図書を購入する際の基準と一緒に基準でいただいております。蔵書、基本的に購入するものについては要綱を作成してございますので、その要綱に基づいて、その範囲であるものについて寄贈を受け付けるというような形での対応をしております。ですから、先ほど申し上げた通り、我々が購入するのと同様の基準で、蔵書についても、受け入れをさせていただくこととなります。

当然そういった形では、蔵書できない書類、本なども、来るものですからそういったものについては蔵書の基準の対象外というような形になろうかと思えます。以上です。

**(桂議長)**

収集要綱に基づいて選定して出しているってことですね。

**(村上委員)**

この数については、何か木更津、この古い図書館で、場所的っていいですか、寄贈されたもので要綱に合っていれば、もう、すぐ、開架するわけですか。自由に取れるような状態に。貸し出しってどうか。

**(事務局)**

基本的には実際に書架に並ぶのには、多少時間がかかりますけれども、寄贈されたものについては、貸し出すような装丁をしたり、いわゆるバーコードをつけたりして、それで配架できるようにしますよね。そういった形では、対象のものについてはすべて配架ができるようにしているのが現状だと思います。

**(村上委員)**

今までで、どういう分野のものがあるんですか。2,000冊っていうのは。

**(事務局)**

郷土資料室にあるものは、ほとんどが寄贈図書ですので、県内の関係機関が発行したものですとか、そういったものはすべていただいているので、その数が多いのかなと。だから一般とか貸出しに供しているものよりは、圧倒的に2階の郷土資料室、及び参考調査室の調べ物の冊数が多くて、特に郷土資料のもので

すと、1枚のペラペラのチラシとかも郷土資料で収集していますので、冊数よりは、場所は取らないような、見た目はコンパクトなんですけど、冊数としてカウントしていくと、結構いただいているように見えるんですけど。小さい薄いものが多いので、大半は郷土資料でもらっているものです。

**(桂議長)**

現金で寄付されているものは別で、別な寄付で、寄贈っていうのはあくまでも持っている本を図書館に、寄贈するってことですよね。だから、あんまり市販されてないような本も入ってきている。わかりました。村上さんよろしいでしょうか。

大変活発なご意見いただきまして、ありがとうございます。

時間の方も、迫ってきておりますので、ご意見、まだあろうかと思いますが、この辺で次の議題の方に移らせていただきたいと思います。

続きまして、議題の(2)「令和2年度木更津市図書館事業計画」について、事務局の方より説明をお願いいたします。

**(事務局)**

それでは、令和2年度の事業につきましては、第二期の教育振興基本計画の計画期間が2022年度までということでございますので、この計画に沿って図書館事業も実施していくこととなります。

この事業については、協議会資料の本資料の10ページの方をご参照いただきたいと思います。

10ページ、非常に簡単に書いてございます。

事業名と実施時期等を記載した簡単なものでございますけれども、新年度に詳細な開設趣旨ですとか、事業内容等につきまして、検討を行っていきたいと考えています。

事業といたしましては、非常に定着してきているものも多いわけですが、より効果的な事業の取り組みが行われますように、ぜひ皆さんの意見をご頂戴いただければと考えています。

特に、ブックスタート事業につきましては、来年度も継続し、将来への期待を込めて事業を実施する予定でございます。

また、ブックスタート事業につきましては、後程、その他報告の中で担当より説明をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いをいたします。

事業計画につきましては、新年度ということもありますので、簡単ではございますが、以上でございます。よろしくお願いをいたします。

ざっくりとした事業計画になっておりますので、例年通りの事業計画となっておりますが、内容面での検討については、それぞれ担当ごとに、検討して効果的な取り組みができるようにスタートしていきたいと考えています。以上です。

**(桂議長)**

寶剣委員、何かありましたら。

**(寶剣委員)**

今、清和大は木更津市立図書館と連携させていただいていますし、図書館の利用状況についてお話しいただきましたが、大学の状況も同じなので、学生に図書館に来て本をみてもらうようにしないと。大学生になるとかなり大変なので、今、ブックスタートのお話しもありましたが、小さい時から親しんでもらうことをやってもらうことがいいのかなと思います。

**(桂議長)**

学校の方でも働きかけていると思いますが、今後とも連携をお願いいたします。

他に事業計画について、何かありましたら。

内容が詳細に出ていないので、出たところで事務局から各委員に送付していただければと思いますが。

**(事務局)**

はい。

**(桂議長)**



それでは出来たところで、郵送をお願いします。他になければ、議題（3）「その他」でございますが、3件ほどございます。事務局の方から説明をお願いします。

#### （事務局）

それでは私の方から、「令和2年度の図書館の重点目標・施策について」と、令和2年度における具体的な取り組みと成果指標について、ご説明をさせていただきたいと思います。別紙の方をご覧ください。

まず、令和2年度の図書館重点目標・施策ですけれども、議題の中でもご説明申し上げましたが、第二期の教育振興基本計画の、計画期間が2022年度までということですから、この計画に沿って図書館事業の方も進めていくことといたします。

こちらの方に、3図書館サービスの充実とございますが、(1)から(4)まで、こちらの方の昨年、7月に配付させていただいた資料の中にもあろうかと思っておりますけれども、同様の取り組みを書かせていただいております。

1点目が地域の実情に即した図書館運営として、①から③まで、(2)として、公民館等地域の読書環境の充実といたしまして、2点。それと(3)の学校との連携の強化ということで①、②とございます。

こちらにつきましては、特に第4次読書プラン、子供の読書活動推進計画ができておりますので、これに沿って学校との連携なども、具体的に進めていくような形になろうかと思っております。

そして(4)魅力ある図書館事業の展開につきましては、なかなか図書館施設が古いものですから、ソフト事業の方を充実していこうということで、いろいろな事業展開を図って図書館の魅力を発信していこうと、3点ほど取り上げてございます。

重点目標・施策につきましては、こちらの方の計画ラインに沿って、来年も進めていきたいと考えています。

次に別表の方がございますけれども、別表の方につきましては一覧表のような形になっておりますが、こちらについては、基本施策に対する具体的な取り組みと成果指標などを書いてあります。例えば、具体的に何タイトルを追加するだとか、何冊購入していきたい。或いは、公民館については、来年度は3公民館を重点的に整備していきたい。調べ物学習についてはこうしていきたい。或いは、ブックスタート事業、小中学生を対象にしたブックリストについては、こういうものを作成して配付したい。そういうような形で、基本的な取り組み、成果指標を書かせていただいておりますので、これについて、実際には、来年度事業が行われ、これに基づいて今度は評価というのが出てきますので、評価についてはまた皆さんの中で評価していただければありがたいと思います。

おそらくA B C Dとかっていう評価基準、評価指標を作って、成果指標については、どこまで到達できたかっていうのを、お話いただければありがたいと思います。

ざっくりとした説明で申し訳ございませんが、以上で説明とさせていただきたいと思います。

ブックスタート事業については、担当よりご説明させていただきます。

#### （石渡主査）

この本資料の6ページ目をお開きください。

こちらに、今年度のブックスタート事業の概要が書いてありますが、皆さんもご承知かと思っておりますが、ブックスタートは、ゼロ歳児健診などの機会に、絵本を開く楽しい体験と絵本をセットでプレゼントする活動です。

木更津市では昨年度までは、4ヶ月児のお子さんを対象とした乳児健康診査のときに、職員が出向きまして、絵本の読み聞かせを行っておりました。ですが、今年度から絵本のプレゼントも含めて、ブックスタートの完全版を実施できるようになりました。

この6ページの資料に写真を載せてあるのですが、ブックスタートと書いたエコバックの中に、本と、あとは、赤ちゃん絵本の触れ合いについて書かれたアドバイスブックが1冊。あと、図書館のカレンダー、利用案内、お話し会のご案内などの冊子が4種類ぐらいと、あと、利用申込書を入れて、お渡しをしています。

健診の待ち時間に、親子1組ずつに絵本をその場で読んで、読んだ本をプレゼントしています。

その際に、赤ちゃんの頃から言葉に触れることをしてもらって、充実しよう、というようなお話しをしまして、図書館でもお話し会等を行っていますので、ぜひ遊びに来てください。というようなことをお話ししています。

2月の末までの段階で、836組の赤ちゃんと保護者へブックスタートを行いました。平均して1回、25人前後ですね。

3月につきましては、この新型コロナウイルスの関係で、健診自体が、延期になっていますので、今の時点で3月の分がどこにずれるのかわからないのですが、今の状況が落ち着き次第、再開をしていきたいと思っています。

今回、ブックスタートを行った翌週に早速、図書館のおはなし会に参加をしてくれる方たちが増えたり、あとは、その健診の待ち時間が長いので、早速その場で差し上げた本と一緒に親子で楽しんでくれている風景なんかがよく見えます。一組、一組個別に対応することで、よりブックスタートの趣旨が伝わっているのかなと思っています。

ブックスタートは、赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が連携して行う事業と位置付けられていますので、来年度はボランティアスタッフの育成も含めて、よりよい充実した内容で実施をしていきたいと思っています。以上です。

**(桂議長)**

今現在、ボランティアは入っていないんですね。

**(石渡主査)**

そうですね。今は職員が3名ほど、出向いて行っています。

**(鉢村委員)**

前回の協議会の方でも申し上げたんですけれども、その話を学校に帰りまして、保育の方の先生にお話ししましたら、是非、是非、是非、是非やりたいって言っていました。清和大学短期大学部の方でも、生徒の方、差し向けて、一緒にやらせていただきたいし、木更津総合高校の保育コースの子でも、もしよろしければ、やらせていただきたいというようなことを言っていましたので、いつでも声がけしてください。

**(事務局)**

ありがとうございます。今の件なんですけども清和大と木更津市の方は、連携協定を結んでいるという関係でいろいろと繋がりが深いなっていう感じがいたしまして、今後、図書館の行事に関しても様々な面でボランティアの活用は必要になってこようかと思っておりますので、是非ご協力をいただけるとありがたいと思いますし、新年度また、担当の方からお話しがあるでしょうから、是非よろしくお話ししたいと思っています。

**(中原委員)**

今、連携の話でちょっとお伺いしたいんですが、木更津高専の方との連携ってというのはあるんですか。

**(事務局)**

高専との連携については、図書館自体は結んでいないんですけれども、教育委員会と高専の方は、確かに連携が進んでいるというふうに考えています。

まだ木更津市の図書館と高専そのものについては、連携協定が結ばれていないような状況だと思います。

**(中原委員)**

先日、高専さんが、「きさらづみらいラボ」で作家の川端さんと呼んでいました。

その時に、もしもこちらの方と連携が取れていれば、もっと人を集めることができたのに、というのがすごく残念な思いがあったので。せっかく川端さん、すごい作家が来てくださっていたのに、集客がほとんどできていなかった状況と聞いたので、声掛けがこっちにもあれば。多分何の連携もないからしょうがない。

道筋がなかったから要は生徒主導でやっていた。と聞いたので、でもすごくもったいないな。と思ったので、今これから高専さんがそういう道筋を何か作っていかうとしていると聞きましたので、何か自分たち

で図書の方をどっかにおいて、皆で本を読みたいという、なんかそういう活動が始まっているようなので、何かできたらと思いました。

**(事務局)**

高専との連携の方は、木更津市との連携があらうかと思いますので、確認させていただきたいと思います。

**(桂議長)**

生涯学習推進協議会の方に、高専の校長先生が、議長でおられるのですけれども、清和大でやっている市の公開講座。昔は高専は入ってなかったのですが、これから参入、参加して、講師をやるような話もありましたので、大学の方とも割と連携は取れているように思えるのですが。

**(實剣委員)**

清和大学と高専の連携は、結んでいますよね。大学自身は、市とは包括協定で連携をするということですね。公開講座については、ちょっと私も自分は担当ではないのですが、始めていただきたい。

それで連携が進んでいけば、もっといろいろな人に来ていただけるのですよね。

**(桂議長)**

なんか年寄り向きのお話が多いとか、そういう苦情も出たりしているのですよね。

その公開講座や他の講座の参加者は、かなり参加できるシステムで年寄りが多いのですね。

図書館の方からも高専に声をかけて、うまく連携を結ぼうと思えばできるのかなって。積極的にやる気はあると思うのですよね。参考までに。他にございますか。

**(鉢村委員)**

図書館のスタッフの規模から考えて、全体像がどれぐらいかっていることもちょっとわかっていないんですけれども、ハードの面から考えて、ソフトの面ですね、すごく頑張っているのかなって思っています。

窓口でも、私もいつも訳のわからないことを言うのに、優しく対応してくれて本当にありがたいなと思っています。

時々私は、君津の図書館に行くんです。そうすると、中学生で溢れているんですよね。特に土日。

だから、試験勉強なんかをそこでやっているってことも結構あるんですけど。

あれだけのハードがあると中学生なんかも来て。そうすると、ちょっとヤングアダルトもいっぱい、ずらっとそろっているから、ちょっとこれ借りていこうかなってということになると思うのですよね。

だから、本当に、これも市長さんですね。ハード。できたら揃えていただければ、もっと呼び込みやすくなるのかなとか思いました。

**(桂議長)**

でも前から箱物は随分、教育長にも、市長にも言っていますけれども、なかなか改善されないんですね。その中で、本当に、ご苦労様でございます。

いろいろご意見いただきましたけれども、全体を通してですね、今後の課題、日頃から感じているような、本当に率直な意見がございましたら。今年度、最後の協議会ということで。このメンバーは来年度も継続ですかね。

**(事務局)**

2年間の任期です。

**(桂議長)**

来年度までですか。では、積極的なご意見をお願いします。

**(事務局)**

先ほどちょっと申し遅れたんですけども、事業報告の中でお話をすればよかったんですが、前回、手塚委員の方から、QRコードを作成したらどうかっていうような話があったので、図書館で発行している、こちら「新しく入った本」とか或いは「図書館だより」なんかにも載せさせていただいておりますけれども、早速、QRコードを作成させていただいて、出版物に付けさせていただくような措置を取りましたの

で、スマートフォン等から非常にアクセスしやすくなっていると思います。是非、こちらの方からもご利用いただければと思います。

**(桂議長)**

携帯で取り込んでですか。どうもありがとうございます。

はい。たくさんの方が、各分野にわたって入っております。

ご意見が、ないようでしたら、ちょっと早目なんですけれども、事務局の方からご説明ありましたら。

**(事務局)**

それでは、少し休館等についての説明をさせていただきたいと思います。

先週、木曜日の夕刻、官邸による小中学校の一斉休校などの意向を受けて、いろいろと各自治体の社会教育施設等にも影響が、少しずつ出てきたのかなと考えています。

新型コロナウイルスの影響になろうかと思えますけれども、木更津市も、「木更津市健康危機管理対策本部」の第4回の会議が、3月5日の日に開催されて、社会教育施設の方の休館も決まってきたというような形になります。

その中で図書館なんですけれども、3月7日から23日まで臨時休館といたします。

3月24日は定期休館日となりますので、ご利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたしますということで、ホームページの方に掲載させていただきました。

休館する施設につきましては、木更津市立図書館の本館です。それと公民館図書室等ということで、市内13公民館と金田地域交流センターという形になります。

休館中に利用できるサービスということで、5点ほど、皆様のお手元に記載してございますので、ご確認いただきたいと思います。

それと臨時窓口の設置をしてこういった方々への対応を図っていきます。

土・日・月については、9時から17時まで、水・木・金については、9時から19時まで、対応させていただきます、火曜日は通常通り休館というような形になります。

続きまして、公民館等の図書室の利用につきましては、裏面の方に書かせてございますが、3月23日まで、いわゆる貸し出しが、休止となりますので、ご理解を賜りたいというふうに思います。

期間中でも、当該窓口で返却等については、出来ますのでご利用ください。

それと既に予約をいただいている資料につきましては、ご用意でき次第、公民館等にお届けいたしますので、公民館窓口等でご利用いただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

公民館等での資料の予約受けは、通常通り行っておりますので、ご予約を承りましたと思います。是非よろしくお願ひしたいと思います。

休館等については、以上の措置になりますので、よろしくお願ひいたします。

ありがとうございます。

臨時窓口っていうのは、この窓口は一緒ですね。先ほど皆様が入ってきたときに、通常返却だけ行っている窓口が、臨時窓口っていうような形になっていますので、そこで返却受付等の中の方で、貸出し、いわゆる資料の貸し出しっていうような形で、営業をさせていただいているところです。以上です。

**(桂議長)**

公民館業務はやっているんですよね。休館は本館だけですよね。

**(事務局)**

そうですね公民館についても、全面休館になっております。ただし、公民館は事務室が空いておりますので、通常の受付業務等は、実際には行っています。ただ、館内の入館停止とか、そういった状況になってきた時は利用ができないかと思えます。

**(實剣委員)**

図書館の休館ということで、清和大学の図書館も実は、外部の方にも利用可能になっているんですけれども、今日から外部の方の利用は、一応15日までの予定で、ちょっと延長される可能性があるんですけれ

ども、今日できなくなりました。また、大学の中の、学校内の学生、教職員だけの貸出しということでございますので、よろしくお願いいたします。

(桂議長)

はい。大変ですね。と言いながらこの界限、他の市も含めて全部の図書館が閉館になっていないようです。その辺はどうしてもという方は、調べて、空いている図書館に行ってくださいでもいいのかなと思います。

(事務局)

袖ヶ浦市は、とりあえず貸し出しとか返却は、今のところ出来るようです。3月5日のお昼現在、県内で本館図書館を設置している自治体が39市町村ございまして、39市町村にプラスして、県立図書館を加えていただくと、40ヶ所になろうかと思えます。

40の自治体の中で、開館してるのが16自治体で、休館が24自治体という状況でして、木更津が加わりましたので、昨日現在で、15の自治体が空いていて、25の自治体が閉まっているというような状況になっています。図書館については、影響が出始めていると思います。以上、情報提供です。

(桂議長)

他に、事務局の方から何かございますか。

(事務局)

特にありません。

(桂議長)

よろしいですか。若干、予定よりも少し早目なんですけれども。限られた、予算、木更津市の1人当たりの図書館費は89円です。

袖ヶ浦市とかは、1人当たりの額がかなり高い。そういう差はありますけれども、少しずつでも木更津が潤っていくように、限られた予算の中で、図書館の職員が一生懸命頑張ってやっていっていただいております。創意工夫を凝らして、市民の皆さんのニーズや課題を踏まえ、事業に取り組んでいる様子が、よく理解できました。

我々委員もですね、利用者、住民の方々と日常的な交流をさらに深め、お互い知恵を出し合うなかで、充実した図書館運営が展開されますよう、期待をいたしまして、本日の会議を閉じたいと思います。どうもありがとうございました。

(渡邊館長)

私事ではございますが、この3月をもちまして市役所を退官させていただくことになりました。いろいろありがとうございました。

(桂議長)

はい。その辺の功労も含めて、長い間、渡邊館長どうもご苦労様でございました。拍手をもって。

(一同拍手)

どうもご苦労さまでした。事務局の方へお渡しします。

(事務局)

長時間にわたりまして、貴重な意見をありがとうございました。委員の皆様には今後とも本市図書館業務の推進・発展のため、なお一層のご支援ご協力お願いいたします。

それでは以上をもちまして、令和元年度第2回図書館協議会を終了いたします。ご苦労さまでした。

議事録署名人 委 員 桂 啓之

委 員 中原まどか